

17週 キリストの謙卑と高挙

質問 27. キリストの謙卑は、どの点にありますか。

答え I キリストの謙卑は、この方が貧しい地位から生まれたこと、律法のもとに置かれたこと、この世での貧しさを経験し、神の怒りと十字架の呪いの死を受けられたこと、葬られたこと、しばらくの間、死の権威の下におられたことです。

質問 26. キリストの高挙は、どの点にありますか。

答え I キリストの高挙は、葬られて三日目に死から復活されたこと、天に昇られたこと、父なる神の右に座しておられること、終わりの日に世を裁くために来られることにあります。

解説

キリストの誕生

キリストの謙卑は、誕生から始まって十字架の死によって仕上げられました。キリストは、その誕生から、三位の中で、二番の位格であられたのに、人間の体を着せられたことで低くなられました。キリストはこの地において、人の体を着て来られた時、派手な王宮ではなく、みすぼらしい馬小屋で誕生したことです

(ルカ 2:7)。これは、墮落した人間を回復させるための方法として、父なる神の特別な計画によるものでした。キリストの謙卑は、神が早くから約束された女の子孫に対する成就でした。神がイエスを処女の体によって来させた理由は、キリストが一番純粋で、聖なる祭司でなければならなかつたからです。勿論、キリストが聖靈によって身ごもられたことは、神秘なことです。

キリストの生涯

キリストのこの地での生活自体が低くなられたことです。キリストはご自身、律法の呪いの下におられました（ガラテヤ 4:4）。キリストは、その民の法的責任を負うために律法の下で完全な従順を実行されました。キリストは悪魔の試みを受けられました（マタイ 4:1）。そして、ご自分に反対する者たちから陰謀と非難と侮辱を受けました（マタイ 10:25）。また、確かに人間の体を着ている状態だったので、飢えと渴きと疲れと悲しみと苦悩に忍ばれました（イザヤ 53:3）。キリストがこのように低くなられたことは、生涯自体が苦しみを受け、神から、その民のために有益を得させるためでした（ロマ 10:4、Ⅱコリント 5:21、ガラテヤ 4:5-6）。

キリストの死

キリストは、前もってご自身の死を予告なさいました。そして、ユダが裏切ることを許容なさり、軍人たちが捕らえて行くことも許可しました。キリストは、ご自分の弟子であるペテロの否定する言葉を聞かれ、人々からつばきと暴行と侮辱を受け、ピラトからムチと死刑の判決を受けました。そして、キリストは十字架の死を通して低くなられ、十字架の死は呪われた恥辱の死であつて、耐え難い肉体の苦しみに伴う死でした。その後、キリストは葬られ、三日間、死の権威

の下に置かれました。

このような、キリストの死は、私たちの救いのためのものとして、私たちがキリストの血によって罪の赦しを受けられることを確信させてくれます（エペソ 1:7）。

キリストが死ぬまで低くなられたことは、私たちも、主と同じように低くならなければならぬことを教えていました（マタイ 11:29）。キリストが私たちの罪のために十字架で死なれたこと、その方の血によって贖われた私たちは、それ以上、罪の中で生きられないです。それゆえ、私たちは罪に対して死ななければならぬのです（ロマ 6:8, 11）。

キリストの復活

キリストの高舉の要素は、一番先にキリストの復活です。キリストは葬られ、三日目に復活されて弟子たちに現れました（1コリント 13:4-5）。その方は、私たちを義とするためによみがえられました（ロマ 4:25）。キリストの復活によって、律法と公義のすべての要求を、その方の民のために合わせました。また、キリストの復活は、その方の聖徒たちの復活の保証でもあります。

キリストの称号

キリストの高舉は、復活された後に与えられた称号です。神はキリストにすべての権威を与え（マタイ 28:18）、「主」（lord）という称号を与えました。それによって、すべての被造物がキリストの前にひざをかがめひれ伏すようにされました。キリストは、すべての名にまさる名をお持ちになります（ピリピ 2:9）。

キリストに口づけせよとは、キリストに忠誠と愛を示しなさいということです。（詩 2:12）。キリストは王の王として、高く挙げられました（黙 1:5）。それゆえ、

キリストは、すべての栄光の称号を持っておられることです。キリストはこの世の救い主として崇められます。キリストが「救いの角」と呼ばれる理由がここにあります（ルカ1:69）。キリストは罪と怒りから救う方だから、全聖徒は自分たちの救い主としてキリストを賛美しなければならないのです（黙5:8）。

キリストの昇天

キリストは復活なさった後に昇天されました。弟子たちはキリストが昇天する光景を直接見届けました。キリストは弟子たちを祝福した後に天に昇られました。キリストの昇天は、その方が征服者として勝利なさったことです。キリストは、罪と死と地獄から勝利しました。それでキリストの勝利は、信者たちの勝利です。キリストの昇天の実は、聖靈を私たちの心のうちに遣わしてくださったことです。キリストは私たちに聖靈を賜物として与え、王としてご自身を愛する者たちに賜物を自由に授与なさいます。

父なる神の右に着座する

キリストは天に挙げられ、父の右に座しておられます。普通の王たちは自分が一番喜ぶ者を自分の右に座らせます。キリストが父の右に座しているということは、権威と栄光にあって父の次だと言うことです。従って、そのどの者も、キリストより高い訳にはいかないです。私たちは当然、キリストを高め、礼拝すべきです。キリストが神の右に着座し、その民のために執り成しの祈りをされています（ロマ8:34）。そして、彼らのために天国で場所を用意なさっています（ヨハネ14:2）。キリストが神の右に着座しているとは、キリストがすべての権威を持ち、贖いの働きを実行なさっておられると言うことです。この事実は私たちに慰めを与えます。

世の審判者

父はすべての審判を息子に委ねました。終わりの日にキリストは父の栄光を
帶びて来られるでしょう（マタイ 25:31-33）。キリストは天軍天使と共に栄光ある
姿で現れ、この世を、各人の行いに応じて義を持って審判なさるでしょう（使徒
17:31）。これは、一番卓越で、優れた最高の栄光になるでしょう。